

IoT推進ラボについて

2017年3月22日
経済産業省
商務情報政策局

IoT推進コンソーシアム

- IoT / ビッグデータ / 人工知能時代に対応し、**企業・業種の枠を超えて産学官で利活用を促進**するため、民主
導の組織として「IoT推進コンソーシアム」を設立。（平成27年10月23日（金）に設立。）
- 技術開発、利活用、政策課題の解決に向けた提言等を実施。現在、**2800社以上**が会員。

総会
n 会長
n 副会長

会長 村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部長兼教授

副会長 鷗浦 博夫 日本電信電話株式会社 代表取締役社長
中西 宏明 株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役

運営委員会（15名）

運営委員会メンバー 委員長 村井 純 慶應義塾大学 環境情報学部長兼教授

| | | | |
|--------|-----------------|--------|-------------------|
| 大久保 秀之 | 三菱電機株式会社 執行役副社長 | 須藤 修 | 東京大学大学院 教授 |
| 越塚 登 | 東京大学大学院 教授 | 堂元 光 | 日本放送協会 副会長 |
| 小柴 満信 | JSR株式会社 社長 | 徳田 英幸 | 慶應義塾大学大学院 教授 |
| 齊藤 裕 | 株式会社日立製作所 副社長 | 野原 佐和子 | イプシ・マーケティング研究所 社長 |
| 坂内 正夫 | 情報通信研究機構 理事長 | 程 近智 | アクセントチュア株式会社 会長 |
| 志賀 俊之 | 産業革新機構 会長(CEO) | 林 いづみ | 弁護士 |
| 篠原 弘道 | 日本電信電話株式会社 副社長 | 松尾 豊 | 東京大学 特任教授 |

参加企業等
2,544会員
(10月31日時点)

技術開発WG

(スマートIoT推進フォーラム)

ネットワーク等のIoT関連技術の
開発・実証、標準化等

先進的IT事業推進WG

(IoT推進ラボ)

先進的なIT事業の創出、規制
改革等の環境整備

IoT

セキュリティWG

IoT機器のネット接続に関する
ガイドラインの検討等

**データ流通
促進WG**

データ流通のニーズの高い
分野の課題検討等

協力

協力

総務省、経済産業省 等

IoT推進ラボ

IoT推進ラボは、**資金支援**、**規制支援**（規制見直し、ルール形成）、**企業連携支援**を通じて

- **短期の個別企業による尖ったプロジェクト**や
- **中長期の社会実装を見据えた複数企業によるプロジェクト**

を支援していく。現在、**2500社以上**が会員。



IoT推進コンソーシアム

技術開発WG
(スマートIoT推進
フォーラム)

IoT推進ラボ
先進的デジタル事業推進WG

IoTセキュリティWG
データ流通促進WG

IoT支援委員会

- IoT推進ラボの運営に関する助言、IoT推進ラボで実施する各IoTプロジェクトに対するアドバイス、**規制・制度に関する政府提言等**を行う



IoT支援委員会 委員名簿

<座長>

富山 和彦

株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO

<委員>

石黒 不二代

ネットイヤーグループ株式会社 代表取締役社長兼CEO

ウド・ヴォルツ

ボッシュ株式会社 代表取締役社長

江田 麻季子

インテル株式会社 代表取締役社長

金丸 恭文

フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役会長CEO

仮屋 藍 聡一

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長

小出 伸一

株式会社セールスフォース・ドットコム 代表取締役会長兼CEO

島田 太郎

シーメンス株式会社 専務執行役員 デジタルファクトリー/プロセス&ドライブ事業本部長

鈴木 和洋

シスコシステムズ合同会社 専務執行役員
シスココンサルティング サービス 戦略事業開発 兼IoTイノベーションセンター担当

孫 泰蔵

Mistletoe株式会社 代表取締役社長兼CEO

高橋 誠

KDDI株式会社 代表取締役執行役員副社長

田中 正明

米日カウンスル 評議員会 副会長

辻井 潤一

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター所長

トニー・ブレピンス

Apple Inc. Vice President

長崎 忠雄

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 代表取締役社長

中西 宏明

株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役

夏野 剛

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授

橋本 孝之

日本アイ・ピー・エム株式会社 副会長

馬場 渉

SAPジャパン株式会社 バイスプレジデント

原田 達也

東京大学 情報理工学系研究科 教授

ピーター・フィッツジェラルド

グーグル株式会社 代表取締役

樋口 泰行

日本マイクロソフト株式会社 代表執行役 会長

ポール・ドーアティ

Accenture plc Chief Technology Officer

マルコ・アヌツィアータ

General Electric GE チーフエコノミスト

村井 純

慶應義塾大学 環境情報学部長兼教授

IoT推進ラボの活動（概要）

- 1 新たなIoTビジネスモデルの創出やIoTプラットフォーマーの発掘・育成を図り、新たな成長の原動力としていくため、短期プロジェクト支援やビジネスマッチングに加え、中長期プロジェクト支援や地方、グローバル連携にも活動に拡大し、それぞれの活動を有機的に連携させる。

資金支援

規制改革・標準化等

企業連携支援

IoT Lab Selection（先進的IoTプロジェクト選考会議）

資金支援・メンター支援、規制改革支援を実施する先進的IoTプロジェクトの発掘・選定



IoT Lab Connection（ソリューション・マッチング）

これまで観光、製造、ヘルスケア（医療・健康）、スポーツ、物流、流通、インフラ、スマートホーム、モビリティ、教育、農業・食品、フィンテックの分野でマッチングを実施。



-1ビッグデータ分析コンテスト



企業等から提供されたビッグデータを活用したオンライン・アルゴリズムの開発競争

-2CEATECとの連携



Selection受賞者展示
Connection実施等

IoT Lab Demonstration（テストベッド実証）

テーマ別に複数企業を巻き込んだ中長期的実証

地方版IoT推進ラボ

IoTビジネスの創出を推進する地域の取組を「地方版IoT推進ラボ」として選定、地域単位でマッチング、プロジェクト（商品開発、イベント等）、実証試験等を実施。現在29地域を選定。



、 、 - 1 ...2015年度より開始

~ 、 - 2 ...2016年度より開始

IoT Lab Global Connection（グローバル版IoT推進ラボ）

海外企業とラボ会員とのマッチングや他のグローバル団体との連携を目指す。



開催実績

IoT Lab Selection

| | | | |
|-------|-----|------------------|---|
| 2月7日 | 第1回 | 先進的IoTプロジェクト選考会議 | |
| 7月31日 | 第2回 | 先進的IoTプロジェクト選考会議 | 1 |
| 3月13日 | 第3回 | 先進的IoTプロジェクト選考会議 | 3 |

IoT Lab Connection

| | | | |
|-------|--------|----------------------------------|-----------------------------|
| 1月28日 | 第1回 | マッチング【テーマ：工場、観光】 | |
| 7月31日 | 第2回 | マッチング【テーマ：ヘルスケア・スポーツ、物流・流通・インフラ】 | 1 |
| 10月5日 | 第3回 | マッチング【テーマ：スマートホーム、モビリティ】 | 2 |
| 3月13日 | 第4回 | マッチング【テーマ：フィンテック、教育、農業】 | 3 |
| | | 【ビッグデータ分析コンテスト】 | 【CEATEC連携】 |
| 2月7日 | 第1回表彰式 | | 10月4日～10月7日Selection受賞者展示 2 |
| 10月5日 | 第2回表彰式 | 2 | |

IoT Lab Demonstration

| | |
|-------------------------|--------------|
| 【2017年度実証】 | 【2016年度実証】 |
| 5月31日 案件公募締切り | 4月～ 公募・実証を開始 |
| 6月～ FS(フィージビリティスタディ) 調査 | |
| 4月～ 実証開始 | |

地方版IoTラボ

| | | |
|-------|-------|---|
| 7月31日 | 第一弾選定 | |
| 3月13日 | 第二弾選定 | 3 |

IoT Lab Global Connection

| | | | |
|-------------|-----|------------------------|---|
| 10月4日～10月7日 | 第1回 | マッチング【ASEAN、インド、イスラエル】 | 2 |
| 3月13日 | 第2回 | 【エストニア】 マッチング | 3 |

1、 2、 3はそれぞれ同時開催

- 先進的IoTプロジェクトを発掘し、事業化を支援すべく、政府系機関や民間金融機関、ベンチャーキャピタルなど、官民が一体となって、**資金支援、** **メンターによる伴走支援、** **規制改革・標準化等に関する支援**を実施。
- 成長性・先導性、波及性、社会性等**の観点から**先進的プロジェクトを選考**。3月13日に開催予定の『**第3回先進的IoTプロジェクト選考会議**』において**選考・表彰**。

支援対象 と 評価項目

支援対象：**IoT等を活用した先進的プロジェクト全般**
(大企業・中小企業・個人等は問わない)

評価項目：下記を考慮して選考

成長性・先導性 **波及性(オープン性)**
社会性 **実現可能性**

支援内容

下記3つから支援内容を選択可能(複数可)

資金支援
メンターによる伴走型支援
規制改革・標準化等に関する支援(グレーゾーン解消制度、企業実証特例等の活用における**手続支援**や**規制改革・標準化・ルール形成等**に向けた調査・実証等)

応募内容 の共有

申請者の希望により、申請内容を
参画支援機関や**ラボ会員**に共有可能。

最終選考に残らなかった場合でも、支援機関やラボ会員企業等に自らの事業内容を発信可能。

第3回先進的IoTプロジェクト選考会議スケジュール

11/1 ~ 12/15

公募

1月下旬(予定)
審査結果公表

一次審査【書面】

2月上旬
~ 中旬(予定)

二次審査【非公開プレゼン】

3月13日
@一橋講堂

**選考会議【公開プレゼン】
(最終プレゼン審査)**
5~10件程度

3~4月以降

**【資金支援】
順次支援決定**

**【メンター支援】
順次支援決定**

**【規制等支援】
検討開始**

ファイナリストの具体的な進捗状況（規制支援）

IoT Lab Selectionを踏まえて、4件の規制支援が進捗

（株）Liquid

～指紋による訪日観光客の個人認証（決済・本人確認）～

指紋のみで個人認証を可能とする生体認証システムを開発。人工知能を用いて指紋を特徴ごとに分類することで、現在100万個の認証に数百秒かかるものを0.05秒で実現。2本の指で認証することで誤認リスクを1兆分の1に。本プロジェクトでは、大手ホテル等と連携し、訪日観光客向けに、ホテル、店舗における指紋のみ（パスポートやカード不要）での本人確認や決済等を行う実証を実施。



Liquidが開発した指紋認証システムによるチェックイン時のパスポート確認の扱いが明らかに

グレーゾーン解消！

（株）アフロ

～スマートフォンによるタクシー業務効率化～

スマートフォンにタクシーメーター機能を実装するアプリケーションを開発。車に接続して走行距離情報を取得し運賃計算を行うだけでなく、現在、手作業の日報業務（乗車記録）の自動化や、各タクシーの運行状況（場所、乗客の有無等）の即時把握による運行業務効率化の実現など、高度な機能を専用器の作り込みよりも遥かに低いコストで実現。



タクシーメーターの具体的な「電子的封印」の要件を明らかに

グレーゾーン解消！

ユニファ（株）

～保育園内見守り業務のデジタル化支援～

業務負荷の大きい手書きのアナログ書類のデジタル化（お便り帳・午睡チェック表・検温表等）や園児の見守り業務支援（動画カメラ/スマートベッド等のセンサー活用）のサービスを開発。経験の浅い保育士でも園児を安全に見守ることができる保育園向け業務支援を、スマートフォン/センサー/ロボット等のテクノロジーを駆使することで実現。



児童福祉法に基づく「帳簿書類」等のデジタル化が可能か明らかに

グレーゾーン解消！

ソニー（株）

～IoT時代に適した表示デバイスの開発・事業化～

焦点合わせが不要（フォーカス・フリー）であり、IoT社会において有用な表示機器として考えられるレーザー方式の表示デバイスの商品化を目指す。

消費生活用製品安全法にかか
る省令を一部改正

第1回のファイナリストを中心に、選考されたプロジェクトの新たなビジネスに展開している。

グランプリ (株) Liquid

プロジェクト支援

- ・NEDO資金支援(池袋プロジェクト)
- ・旅館業法のグレーゾーン解消



～指紋による訪日観光客の個人認証(決済・本人確認)～

ビジネス展開

- ・JTBコーポレートセールス等と連携し、湯河原等の観光地でサービス開始
- ・インドネシア財閥と合弁会社設立



準グランプリ (株) aba

プロジェクト支援

- ・メンター支援実施



～介護負担軽減を実現する排泄検知シートLifi～

ビジネス展開

- ・業務提携により、Lifiの販売をパラマウントベッドが実施



準グランプリ ルートレックネットワークス(株)

プロジェクト支援

- ・IPA資金支援(露地栽培アルゴリズム)



～点滴栽培の水と液肥を最適制御する農業システム～

ビジネス展開

- ・イスラエルのネタフィムと連携して、ベトナムでゼロアグリを稼動
- ・オイシックスとの事業資本提携を合意

審査員特別賞 エブリセンスジャパン(株)

プロジェクト支援

- ・ルール整備(データ流通促進WGにてデータ仲介ビジネスの規約をオーソライズ)



～企業ビッグデータや個人データの取引を仲介するシステムにより
データ取引のプラットフォーマーを目指す～


ビジネス展開

- ・IoT情報流通市場「EverySense」をローンチ

第2回のファイナリストについても、現在プロジェクト支援を実施中。

グランプリ ユニファ（株）

～ 保育園見守り業務のデジタル化支援～
 経験の浅い保育士でも園児を安全に見守ることができる
 保育園向け業務支援を、スマートフォン/センサー/ロボット等のテクノロジーを駆使することで実現。
 具体的には、業務負荷の大きい手書きのアナログ書類のデジタル化（お便り帳・午睡チェック表・検温表等）や死亡事故に繋がり得る園児のお昼寝中の見守り業務支援（動画カメラ/ベッドセンサー活用）のサービスを開発。



プロジェクトの進捗

- ・IPA資金・メンター支援採択
- ・児童福祉法のグレーゾーン解消

準グランプリ （株）フェニックスソリューション

～ 世界初! 金属の裏側でも読取可能なRFID～
 汎用リーダーで金属対象物、特に金属の裏側、積層状態でも読み取り可能な特殊金属タグである。金属製資材を多用する製造業、建設業、リース業、物流やインフラ施設などで、業務効率改善、管理コスト削減が期待できるサプライチェーンへの応用や、センサー、ドローンとの連携で更なる用途拡大を目指す。本技術は世界初の独自技術であり、多品種開発により、世界的な大量普及、金属製品のIoT実現を目指す。



RFIDタグ
5.5 cm




金属の裏でも読取可能
金属

プロジェクトの進捗

- ・NEDO資金決定（金属用RFIDの小型化）

準グランプリ （株）ゼンリン

～ ドローンの都市内安全飛行の実現に向けた
 3次元地図情報の実証プロジェクト～
 ドローン活用の究極形態である「都市部等の有人地帯での目視外飛行」（レベル4）実現の基盤となるドローン自動飛行支援システムを開発を目指している。
 今回は、その一環として、推奨飛行ルートや障害物などを含む「空の3次元地図」の実現や、ドローンプロブ情報の収集・解析によるルート離脱のリアルタイム把握等によって、有人地帯におけるドローンの安全な飛行を可能とする技術の確立等を目指す。



プロジェクトの進捗

- ・NEDO資金決定（3Dマップ構築技術）

審査員特別賞 （株）エクスメディオ

～ 画像及び問診データによる眼科疾患識別技術～
 非眼科医向けに、画像及び問診データによる眼科疾患の自動識別・診断支援を可能とするAIを開発し、モバイルアプリ「メミルちゃん」へ搭載する



プロジェクトの進捗

- ・IPA資金・メンター支援採択

『第3回IoT Lab Selection』では、117件の申請の中から新たに8つのプロジェクトをファイナリストとして選定。ファイナリストの最終プレゼン審査では3社が受賞。

グランプリ Coaido株式会社

東京を救命ワースト都市から救命先進都市に

「Coaido119」は、発見者がアプリから119をすることで 救急車の要請、 周囲へSOSを発信、 周囲のAED設置施設の固定電話への一斉に架電を同時に行う、患者の発生情報を確実に伝達し、AED使用率を大幅に向上することで、世界最高のAED設置環境をもつ東京都を救命。



準グランプリ 小林博樹 (東京大学空間情報センター)

野生動物装着センサ網による時空間情報ネットワーク

野生動物の習性を利用して、省電力での非接触データ収集・回収、給電等を行うシステムの研究。家畜の伝染病対策、地雷探知支援など、これまでデータ収集が困難であった、電源・情報・道路インフラが存在しない区域での利活用を目指す。

家畜伝染病対策支援

パンデミックの拡大スピードの実計測と実現する情報通信技術

地雷探知ネズミ用ウェアラブル

人より優れた嗅覚で地雷(火薬)探知
体重が軽いため地雷が有感しない(安全)手法
国際支援活動のための情報基礎研究

航空管制の空白地帯対応支援

北京
上海
アレーシア
クアラルンプール 北京行
ボーイング 777-300型機 MH370便
動物型センサによる飛行中機体からの信号受信

審査員特別賞 合同会社Keychain

～ ブロックチェーンによるIoT分散認証プラットフォーム～

今後、IoTデバイスの爆発的な拡大において、デバイスの認証はサイバーセキュリティの大きな課題。ブロックチェーン技術を活用してIoTの基盤となるデバイスの分散認証を大幅に低コストで実現。デバイスからのデータの信頼性確保やデバイスがハッキングされにくいプラットフォームを開発。



- 1 新たなビジネスモデルの創出を目指す事業者が、当該ビジネスモデルの実現に必要なアイデア等に接続する事業の創出及びその社会実装の促進を目的として、関連する事業モデルや技術 / サービス等を有する事業者に出会う場として、シーズ又はニーズを保有する会員企業、団体、自治体等向けのマッチングイベントを実施。

第2回イベントの様子

日時：2016年7月31日（日） 10:30～16:45

場所：東京（一橋講堂）

主催：IoT推進ラボ×経済産業省

共催：国土交通省・スポーツ庁

参加自治体：東京都、千葉県千葉市、神奈川県川崎市
長野県松本市、三重県、兵庫県神戸市
島根県、福岡県福岡市

ビジネス・マッチング（1：1マッチング）



事前に提示された各企業のニーズ・シーズから、当日のマッチング先企業を事前に組合せ。当日は15分の個別マッチングを実施。

約183の企業・団体が参加
約518のマッチングを実施

プレゼン・マッチング（1：Nマッチング）



マッチング人気企業等が不特定多数に対し自社のシーズ・ニーズをプレゼン。関心を持った企業とその場でミーティング。

7の省庁・企業がプレゼン

約300名が参加

自治体ブース・マッチング （自治体：Nマッチング）



自治体がブースを設置。自治体のシーズ・ニーズ等に対し、関心のある企業・団体がその場でミーティング。

8自治体がブース設置

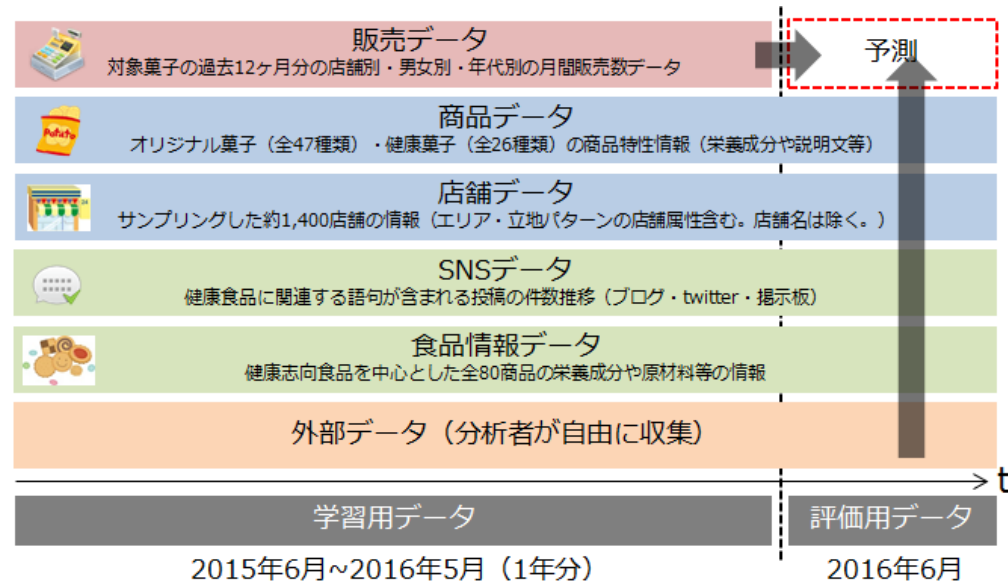
<これまでのマッチング実施テーマ>

観光、製造、ヘルスケア（医療・健康）、スポーツ、物流、流通、インフラ、スマートホーム、モビリティ、フィンテック、教育、農業・食品

企業等から提供されたビッグデータとそれを活用したデータ分析の精度等を競うアルゴリズム開発コンテストを、学生を含め広く一般から参加を募り、参加のしやすいオンライン形式で実施。産業界の課題・データを対象にデータ分析を行うことにより、優秀なデータサイエンティストの発掘やデータ提供企業等とのマッチング・育成を目指す。第1回（2015年12月～1月）は観光をテーマに観光客数予測のアルゴリズム開発を、第2回は流通・小売（売上予測のアルゴリズム開発・新商品開発）で実施。

第二回の概要

主催：IoT推進ラボ 経済産業省
 後援：文部科学省、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
 設計運営：株式会社オプトホールディング
 実施期間：2016年7月11日～2016年9月1日
 参加者数：150名
 応募件数：2,226件（複数応募可）



ナチュラル
ローソンのオリジナル菓子の
実際のデータを
を提供

【売上予測】

データから最新月の売上データの予測精度を競うもの

【新商品開発】

データから30代男性が好む新たなお菓子の商品開発の提案を競うもの

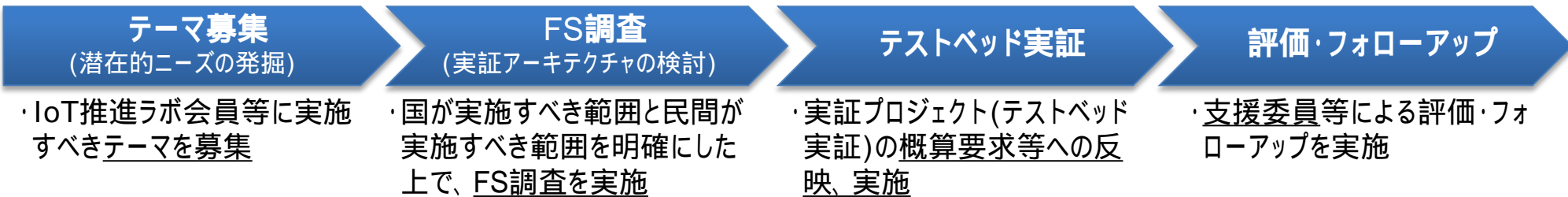
大学生、社会人が受賞



IoT Lab Demonstration (テストベッド実証)

- IoT Lab Demonstrationは、**中長期**の社会実装を見据えた**複数企業**による**実証プロジェクト**。分野別に**競争領域・協調領域を峻別**し、事務所・企業・系列の枠を超えて**データを共有・活用する「プラットフォーム」の形成**を目指す。

IoT Lab Demonstrationの流れ



これまでの取組状況

・H28.4.28-5.31まで実施テーマを募集し、**25件の提案**有り

(提案の内訳)

| | |
|----------|----|
| ・インフラ・建設 | 6件 |
| ・製造 | 4件 |
| ・医療・健康 | 4件 |
| ・物流・流通 | 3件 |
| ・スマートホーム | 3件 |
| ・農業 | 2件 |
| ・産業保安 | 1件 |
| ・観光 | 1件 |
| ・行政 | 1件 |

・提案内容等を踏まえ、**13件のFS調査**を実施/実施予定

(実施テーマ例)

| |
|-----------|
| ・スマートホーム |
| ・航空機 |
| ・セキュリティ |
| ・物流 |
| ・鉱物資源開発 等 |

・これまでの実施テーマに加え、**スマートホーム分野、航空機分野等**に係る実証を今後実施予定

(取組中の実証テーマ)

| |
|-------------|
| ・製造(スマート工場) |
| ・社会インフラ |
| ・産業保安 |
| ・行政 |
| ・医療・健康 |
| ・流通・宇宙 |
| ・サービス |

・**テーマ毎に担当の支援委員を決定**。今後、年2回程度、実施状況を報告し、担当委員からの意見等を**今後の取組内容等に反映**

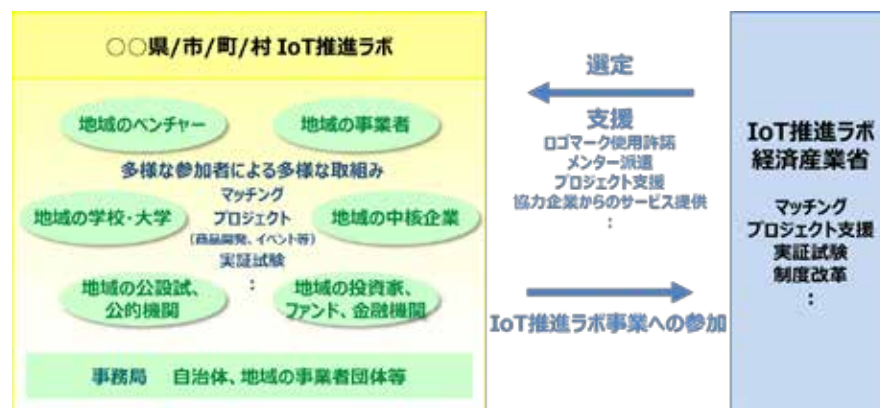
・**テーマ毎に担当のAIセンタールー研究者を決定**。AIの活用に関する意見等を**今後の取組内容等に反映**

実証を通じて、国は、IoT等の**新たな技術に対応した規制の見直し、策定**(統一的なデータ様式、機器のID管理・認証ルール等)等を実施

各企業が協調すべき最低限のルール

地方版IoT推進ラボ 第一弾選定地域の類型

「地方版IoT推進ラボ」として、これまで53地域を選定。各地域の特性・課題に合わせた多様な取組を選定し、支援を行っている。



支援型ラボ

自治体もしくは関係団体中心に構成され、IoTビジネスを行おうとする企業等を支援するラボ。

ビジネスコンテスト型ラボ

プロジェクトに焦点を当て、その完成度や新規性について競わせ、優れたプロジェクトを支援・表彰するラボ。

人材育成型ラボ

人材に焦点を当て、ラボ内で優れたIoT人材の育成を目指すラボ。

テストベッド型ラボ

ラボ内企業が自由に実証に参加出来るテストベッドを用意し、トライ＆エラーの中で優れたプロジェクトの創出を目指すラボ。

プロジェクト型ラボ

事業者中心に構成され、具体的な1つのプロジェクトを自ら実施するラボ。

(例) 北海道士幌町

・地元の士幌高校が所有する実証農場等にPSソリューションズが展開する農業IoTデバイス「e-kakashi」を設置。収集した環境データを生物学的に分析解析することで、データを活用した栽培技術を生徒が身に付ける。それが科学的農業の実践となり、優れた農業人材の育成にも貢献する。

・高校生を通じ栽培技術の伝承、域内農家への横展開による地域全体の生産性向上を目指す。



- 日本企業を中心とするIoTプロジェクト形成のエコシステム構築の観点から、グローバル企業の日本への誘致や日本企業のグローバル連携を促進。
- 第1回はASEAN、インド、イスラエルの3地域を対象に、日本企業との連携を望むIoTベンチャー企業を広く募集。164社の応募の中から、IoT推進ラボ会員の投票により計29社を選定。CEATEC JAPAN会場内にて国内企業とのビジネスマッチングを実施。
- 第2回はエストニア企業から10社とのマッチングを実施。エストニアからウルヴェ・パロ企業・情報技術大臣が来日し、ご挨拶いただいた。

ビジネス・マッチング（1：1マッチング）



シーズ・ニーズが合致する海外企業と国内企業の組み合わせを事前に設定し、20分の個別マッチングを実施。

41の国内企業・団体が参加
214件のマッチングを実施

ピッチングセッション



在イスラエル日本国大使館、NASSCOMによる現地経済概況や政府支援策についての講演。
海外企業がピッチングセッションにより自社技術をアピール。

3地域それぞれのセッション開催
延べ約325人が聴講

展示ブース

海外ベンチャー企業がそれぞれ展示ブースを設置。



日時：2016年10月4日（火）～10月7日（金）
場所：CEATEC JAPAN 2016 会場（幕張メッセ）
主催：IoT推進ラボ×経済産業省
参加企業数：海外企業29社、国内企業41社